
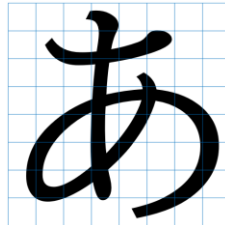



学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	美術	模写、レタリング	プレゼンテーションソフト
授業内容 画像をマスで区切ってトレースし、特徴をとらえて描く			画像データを補助線の背面に配置して使用します  <p>イラスト出典：いらすとや https://www.irasutoya.com/</p>
準備： <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート用ファイルを準備する。（複数のスライドがあるので、不要なスライドを削除する） ・ワークシート用ファイルのスライドを課題として子供たちにコピーを配付する。 			
授業の流れ： <ol style="list-style-type: none"> 1. 写し取る対象の画像データを子供たちが各自タブレット内に準備する。 2. 配付されたスライドを開き、画像データの色に応じて、黒の補助線か青の補助線を選び、画像データをワークシートのスライドに挿入する。 3. 画像データの大きさと位置を調整したのち、画像データを最背面に移動する。 4. 写し取るための紙に、スライドの補助線と同様に鉛筆で補助線を入れる。（ひとマスの線の長さは紙のサイズに応じる） 5. 画像データ上の補助線と紙の補助線を指標とし、よく見ながら紙に写し取る。 			テキストデータの使用例 
サポートおすすめポイント  <ul style="list-style-type: none"> ・名画や写真などをプリントアウトせずに、デジタルデータのまま補助線を入れることができます。 ・写し取る対象の画像にあわせて補助線を選べるので、準備の時間を短縮できます。 ・A4用紙、B5用紙、画用紙の16切などのよく使われる紙は縦横比に大きな違いがないため、同じワークシートを使用できます。 ・テキストなどにお使いいただける正方形のワークシートもご用意しました。 			紙に補助線を入れる際の参考に、主な用紙のサイズでのひとマスの長さの目安をスライドの外側に記載しています 